

北海道プラス

〒060-0004 札幌市中央区北四条西6丁目1 毎日会館【☎】011(251)1755
【FAX】011(251)7346 広告のお申し込み、お問い合わせは【☎】011(251)1746

21世紀のブロンテア
青山千景がリーダー直撃

おいしいお菓子で国内外の方を笑顔に

—なぜ函館のお土産として評判になった?

「イカをはじめ海産物はあっても土産になる菓子はなかった。北海道の強みである乳製品でつくる菓子を考え、思いついたのがスフレのようなチーズオムレットです。2000年のことでした」

—賞味期限(7日)が短いのは土産として不利に思えますが。

「焼き立てのものを楽しんでいただきたい、適切な量を適切な時期に出すことにご協力があった。賞味期限が短いことで希少価値も生まれました」

—チーズオムレットが売れたため、社名よりスナッフルスという店の名の方を、皆さんで存じかもしれませんね。

「ベシェ・ミニオンとはフランス語で小さな罪。甘い物を食べることは罪だけど、我慢できないくらいおいしいものをつくりたいという思いを込めています。ちなみにスナッフルスはおいしい物をパクパク食べるという意味です」

ベシェ・ミニオン中澤美樹社長

北海道新幹線が開通して活気を帯びる函館に本拠を置くベシェ・ミニヨンの中澤美樹社長(58)を直撃した。経営する菓子店スナッフルスが販売しているチーズオムレットは急増する観光客にも大人気。国内外に函館の食と魅力をアピールしようと意気込んでいる。

(次回は22日掲載予定)

函館評判のお土産 チーズオムレット

—新幹線が開通して函館は盛り上がっていますね。
「北海道の玄関口として今、改めておもてなしが大切になります。おいしいお菓子で道内外の方を笑顔にしたいですね」



商品を手にとる中澤社長(左)と青山

—開業したのは東京ですよね。
「夫と東新橋で開業し、当時は珍しい焼き菓子のバラ売りなどしていました。その後、勉強のためにパリへ行ったのですが、夫婦ゲンカに

なって帰国しました」

—えーっ、1人で?

「実家のある九州に戻りました。でも、夫の菓子をつくりたいという熱意に負けて彼の故郷・函館で店を開くことになったのです」

—その後は仲良く?

「ここまでは全て夫と計画してきたものです。話すのはいつも会社のこと。菓子だけではなく、レストランも始めようというのが死ぬ前の最後の会話です」

—その一環でしょうか、札幌にもレストランがありますね。

「(道庁前の)赤れんがテラスにあるベシェ・グランですね。店名は大きな罪という意味。こちらは酒を飲んだりするので菓子より罪が大きいということでつけました」

—インバウンド対策などは?

「もちろん、観光客が増えている世界の函館を食でも盛り上げていきたい。その一つとしてフランスと函館をつなぐことを目標に両国パティシエとコラボイベントを毎年開催しています」

—来年には25周年を迎えます。「オンリー・ワン、ロングセラーにこだわってブランドをしっかりと守りたい。今まで通り愛されるお店を目指します」

▽ベシェ・ミニオン 本社・函館市湯浜町4の8。1992年設立。菓子店のスナッフルスは98年に函館で開業した。札幌にレストランのベシェ・グランなど4店舗、東京とシンガポールにも店を構える。

♡青山 千景(あおやま・ちかげ) 1986年(昭61)1月17日、札幌市生まれの30歳。北海学園大卒。中学2年時にCMデビュー。07年度ミスさっぽろで、TVh「旅コミ北海道」に出演中。

♡中澤 美樹

(なかざわ・みき) 1958年(昭33)3月26日、佐賀県生まれの58歳。東京製菓学校で学んで、90年からパリに1年間遊学。07年、夫・誠一氏の死去に伴い、社長に就任。趣味は旅行。



座右の銘「人間万事塞翁が馬」を色紙に記した中澤社長